

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	「自律」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。				
到達目標	学校内外の行事を通して学生のチャレンジ精神・感謝等の「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと学生の個別ガイダンスを合わせた評価C以上取得。(A・B・C・Dの4段階評価とし、レポート、ガイダンス内容等を学校で定めた成績評価の基準とする)				
授業計画	総授業時間数 148 時間 授業回数 148 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)			48
	2	就職実務 I			58
	3	irc夏フェス(準備期間を含む)			42
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				148
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティやその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、週末テスト、提出課題等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	面接対策 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	就職活動における最も重要な「面接試験」の対策を行う。入退室時の挨拶等基本的なものから、自己PRや志望動機をしっかりと確立させる。				
到達目標	1. リクルースタイル基準の身嗜みができていて第一印象が良い。 2. 元気・明朗・笑顔で面接に臨むことができる。 3. 質問応答が明確で、無理のない応答ができる。				
授業計画	総授業時間数 28 時間 授業回数 28 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	自己紹介・シラバス配布・科目評価方法・センスアップセミナーについて			2
	2	自己PRを作成する・自己PRの内容確認と校正・「5つの質問」シートの作成			2
	3	面接練習			10
	4	プレ・センスアップセミナー(振り返り含む)			6
	5	センスアップセミナー(振り返り含む)			8
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				28
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 外部依頼によるスーツ着こなし講習				
成績評価 方法	出席率、授業態度、課題発表、提出課題等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	マーケティングジャーナル	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	県内紙を購読し、特に目指す業界等の動向に注視し、スクラップ作成と並行して、自身の考えや意見などをまとめる力を育てる。				
到達目標	1. 新聞の「大見出し」や「リード」などの新聞用語を理解して新聞を読むことができる。 2. 記事の内容を理解し、正確な情報を要約することができる。 3. 新聞から得た情報・知識を日常生活において応用・活用することができる。				
授業計画	総授業時間数 28 時間 授業回数 28 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	シラバス配布・科目評価方法・授業の進め方・授業の目的と目標			1
	2	新聞に対する印象を共有する・なぜ新聞は「読む」ではなく「聞く」なのか？			1
	3	携帯ニュースと新聞の違いを理解する・新聞授業の目的を理解する			1
	4	短縮連想ゲーム問題を解く			1
	5	新聞紙面の特徴を理解する・主見出し、袖見出しをつけてみる			1
	6	スクラップブック使用方法・実際に新聞を読んで曜日の違いを確認する			1
	7	新聞を読む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ			8
	8	3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる			10
	9	まとめた記事について各グループでディスカッションを行う			2
	10	最終まとめテスト実施			1
	11	授業振返りと今後の新聞活用方法について・授業についてのアンケート			1
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				28
教科書	プリント配布対応				
時間外 学習	様々な新聞を読み、同事件の切り口や違いを確認する。				
	テレビやネットなどのニュースをチェックし、新聞との違いを考える。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、課題発表、提出課題等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	パソコン演習 I	担当者	大冨見汐織・喜名 和歌子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	PC操作の基本、ワード及びエクセルの基本操作を身に付ける事を目的とし、実践的なトレーニングを実施する。				
到達目標	日本語ワープロ検定試験3級以上、日本情報処理技能検定3級以上取得 ①タッチタイピングで10分間300文字以上、及び定型ビジネス文書の作成ができる。 ②四則計算や「IF」など、基本的な関数処理ができる。				
授業計画	総授業時間数 80 時間 授業回数 80 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	ワープロ検定について(パソコン室の使い方等の注意事項)			1
	2	タイピング練習(4級速度練習)			5
	3	4級速度模擬問題			2
	4	タイピング練習(3級速度練習)			5
	5	3級速度模擬問題			3
	6	文書作成の注意事項について			2
	7	4級通信文作成練習			2
	8	4級通信文作成模擬問題			2
	9	3級通信文作成練習			3
	10	3級通信文作成模擬問題			3
	11	模擬問題演習(速度+通信文)			20
	12	表計算作成についての説明			5
	13	四則計算、関数の説明			5
	14	3級模擬問題			22
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				80
教科書	日本語ワープロ検定試験模擬問題集3・4級編及び情報処理(表計算)模擬問題3・4級編				
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	Interactive English	講義時期	通年
授業科目	English Conversation1	担当者		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	基礎的な英会話を取得する。日常生活なものから、少し高度な空港業務に関する内容も導入し、就職後を見据えて実践する。				
到達目標	Using basic English conversation through beginners level English. Showing capability to use English to introduce one's self competently				
授業計画	総授業時間数 26時間 授業回数 26回 1回授業 50分				授業時間数
	1	Simple Self Introductions!Introducing Your Friend!			2
	2	What did you do this week? Why do you plan to this weekend?			2
	3	Tell me about your family Describe your job			2
	4	Tell us about your hobbies . Tell us about your pets			2
	5	What kind of music do you like? What kind of movies do you like?			2
	6	What did you eat for lunch? What kind of food do you like to eat?			2
	7	What was your childhood like? Tell us about your best friend?			2
	8	What is your favorite holiday? What is your favorite season?			2
	9	What is your favorite country to live? Where do you like to travel?			2
	10	What is the craziest thing you have done and the strangest thing you have done?			2
	11	What is your dream? Who is your "idol"?			3
	12	What are your main goals for this year? What are your plans for your next year?			3
		合計時間数			
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習					
成績評価 方法	Class Participation 50%, Class Presentation 50%				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	沖縄観光	担当者	仲井間 利加子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	沖縄の観光地について学び、また見聞・体験を通して、歴史・文化や暮らしを理解し、観光業発展につなげる。				
到達目標	1. 沖縄の地理、概要を知る 2. 沖縄の文化を知る事(ブクブク茶) 3. 沖縄の41市町村を理解する事				
授業計画	総授業時間数 30 時間 授業回数 30回 1回授業 45分				授業時間数
	1	沖縄観光とは?・メラビアン の法則・ペーパー紹介			2
	2	ぶくぶく茶体験			2
	3	DVD鑑賞(対馬丸)			2
	4	沖縄の市町村・概要・沖縄の市町村ビンゴ			4
	5	沖縄の年中行事			4
	6	市内研修と首里城公園 課外授業			6
	7	沖縄の伝統工芸			2
	8	沖縄の伝統芸能			2
	9	沖縄の食文化			2
	10	沖縄語(しまくとぅば)言葉の文化			2
	11	琉球・沖縄の歴史			2
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				30
教科書	うちな〜観光教本(沖縄コンベンションビューロー)				
時間外 学習	1. ブクブク茶体験 2. 那覇市内研修				
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家		2. 教員	備考	
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	志学 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要	教育理念と学生行動指針に沿い、行動の仕方、心の持ち方、あるべき姿を深く学び考え、社会から必要とされ続ける“人財”となるべく基本的思考、行動習慣を身につけていく。					
到達目標	志学を通して各章ごとの「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと出席率、志学の教科書記入内容等を合わせた評価C以上取得を目標とする。(A・B・C・Dの4段階評価とし、学校で定めた成績評価の基準とする)					
授業計画	総授業時間数	24 時間	授業回数	24 回	1回授業 45分	授業時間数
	1	志学 I 序章				2
	2	志学 I ねらい・学習目標				2
	3	志学 I 第1章 ～感謝 (クレド1)～				2
	4	志学 I 第2章 ～感動 (クレド2)～				2
	5	志学 I 第3章 ～思いやり・気配り (クレド3)～				2
	6	志学 I 第4章 ～明朗 (クレド4)～				2
	7	志学 I 第5章 ～挨拶 (クレド5)～				2
	8	志学 I 第6章 ～素直 (クレド6)～				2
	9	志学 I 第7章 ～プラス思考 (クレド7)～				2
	10	志学 I 第8章 ～チャレンジ精神 (クレド8)～				2
	11	志学 I 第9章 ～永久戦力 (クレド9)～				2
	12	志学 I まとめ、振り返り				2
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				24	
教科書	KBC学園 志学 I・II					
時間外学習	1. 志学で学んだクレド項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)					
成績評価方法	出席率、授業態度、レポート提出状況等総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	ビジネスマナー	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。					
到達目標	1. 社会人として基本的な心構えができています。 2. 丁寧語、謙譲語など基本的な敬語の知識を習得している。 3. 姿勢やお辞儀など、基本的動作や電話応対などを習得している。					
授業計画	総授業時間数	20時間	授業回数	20回	1回授業 45分	授業時間数
	1	社会人としての心構え				2
	2	基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)				4
	3	言葉遣いの基本(話の仕方、聞き方・敬語の基本)				4
	4	来客応対(接遇とは・お客様の受付・名刺交換その他)				2
	5	確認テスト 解答と解説				2
	6	電話応対				2
	7	訪問のマナー				2
	8	確認テスト 解答と解説				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	合計時間数					20
教科書	テキスト: 実践ビジネスマナー					
時間外 学習	読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる					
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	エアライン実務(基礎)	担当者	市原 瑞貴・吉原亜矢子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空会社の業務について、旅客部門、搭載部門について専門用語や航空法に基づく規則を学ぶ。また、国際貨物運送における基礎的知識も習得する。				
到達目標	1. 空港で使用されるコード、特殊車両、航空用語等の確認テストを合格。 (100点満点中60点以上で合格) 2. 那覇空港を就航する各空港の3レターコードを答えることができる。 (30空港中24空港以上正解)				
授業計画	総授業時間数 84 時間 授業回数 84 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	各航空会社とキャリア ①航空知識			2
	2	航空会社と2レター アライアンス ①航空知識			2
	3	3レター那覇空港就航都市 ①航空知識			2
	4	概要説明 空港業務説明 ①航空知識			2
	5	各航空機機種説明 ①航空知識			2
	6	那覇空港従事航空会社概要紹介 ①航空知識			2
	7	1～6まとめテスト ①航空知識			4
	8	グランドハンドリング業務			12
	9	グランドスタッフ業務			30
	10	国際航空貨物概論			26
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				84
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	航空用語、空港コード等の授業で学んだ知識の復習を各自で進める。				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期		
授業科目	実用英語 I	担当者	新里玲子・川添樹子	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> 過去問・模試演習を通して、1・2次試験の出題傾向を認識する。 英検取得に必要な語彙・リーディング力、ライティング力、リスニング力を身に付ける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英検出題頻度の高い1,000語を理解できる。 英文法の基礎を理解し、30～100語の英作文を作成することができる。 社会生活に必要な英語を理解し、使用する事ができる。 						
授業計画	総授業時間数	88時間	授業回数	88回	1回授業	45分	授業時間数
	1	オリエンテーション					1
	2	実力診断テスト(模擬試験)					2
	3	リーディング(短文空所補充)					5
	4	リーディング(会話文空所補充)					5
	5	リーディング(長文読解)					5
	6	ライティング(Eメール)					17
	7	ライティング(英作文(意見論述))					17
	8	リスニング(問題演習、シャドーイング、ディクテーション)					18
	9	第1回～第4回 模擬試験(過去問題)、解答解説					8
	10	1次試験対策総まとめ					2
	11	2次試験対策 模擬面接・ペアワーク					8
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						88
教科書	2024年度版過去全6回全問題集(旺文社)、でる順パス単(旺文社)他						
時間外 学習	単語学習(学習アプリ使用)他						
成績評価 方法	【出席5P】【授業態度5P】【確認テスト10P】【提出課題10P】【評価テスト70P】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考				
実務経験紹介	—						

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期	
授業科目	一般学力(国語・数学・時事)	担当者	大原簿記公務員専門学校	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	就職試験(筆記)で出題される義務教育レベルの国語、数学、時事関連の復習を行う。また、SPI対策もを行い、基礎学力強化を図る。					
到達目標	1. 「書く」「話す」について、学んだ敬語を実践できる。 2. 一般社会で触れる文章・新聞などの漢字の読み・書きができ内容を理解することができる。 3. 四則の計算、簡単な方程式・文章問題を解くことができる。 4. 各単元に沿った問題を理解し、適した計算方法を使い問題を解くことができる。 5. 時事に関する最新の話題について、知識を習得している。					
授業計画	総授業時間数	32時間	授業回数	32回	1回授業 45分	授業時間数
	1	(国語)漢字の読み・書き①				1
	2	(数学)四則計算①				1
	3	(国語)漢字の読み・書き②				1
	4	(数学)四則計算②				1
	5	(国語)漢字の読み・書き③				1
	6	(数学)四則計算③				1
	7	確認テスト1				2
	8	(国語)熟語・慣用句①				1
	9	(数学)角度の計算				1
	10	(国語)熟語・慣用句②				1
	11	(数学)割合・面積・体積				1
	12	(国語)熟語・慣用句③				1
	13	(数学)分数のかけ算・わり算				1
	14	確認テスト2				2
	15	時事問題①				2
	16	(数学)速さ・道のり・時間の関係				1
	17	時事問題②				1
	18	(数学)反比例・文字式 連立方程式				1
	19	時事問題③				1
	20	(数学)方程式・不等式				1
	21	確認テスト3				2
	22	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)				1
	23	(数学)数列				2
	24	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)				1
	25	(数学)文章問題				1
	26	確認テスト4				2
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
32						
合計時間数					32	
教科書	最新最強の適性検査クリア問題集 '24年度					
時間外学習	テキストの復習、ニュースを見る 日常生活で意識して敬語を使う					
成績評価方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)	備考				
実務経験紹介	—					

シラバス

令和6年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	グランドハンドリング実習	担当者	市原 瑞貴/企業担当	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業派遣講師による主要職種の概要に関する座学と空港内での実習を通して職種毎の作業手順、順守すべき諸規則等を習得する。				
到達目標	1. エアライン実務基礎の振り返りテストの合格。(100点満点中80点以上正解で合格とする) 2. 4週間(2週間×2社)の企業インターンシップ終了後のレポートにてC以上の評価結果(A・B・C・Dの4段階評価とする)				
授業計画	総授業時間数 168時間 授業回数 168回 1回授業 45分				授業時間数
	1	久米島空港研修			16
	2	企業連携授業(ANA沖縄空港・JALスカイエアポート沖縄)			24
	3	空港インターンシップ(ANA沖縄空港・JALスカイエアポート沖縄)			96
	4	県外空港研修			32
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				168
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	エアライン実務知識の復習を各自で進める。				
	エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する				
成績評価 方法	出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和6年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	乙4危険物取扱者(法令・物理・性質)	担当者	市原 瑞貴・大城 利気	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	消防法で定める危険物・貯蔵方法についての諸規則や、別表に定める引火性液体の知識に加え、物理的・科学的知識やその性質と消火法などについて学ぶ。				
到達目標	1. 約12回の危険物取扱者模擬試験にて7回合格することが出来る(法令:15問中9問正解で合格、物理:10問中6問正解で合格、性質:10問中6問正解で合格) 2. 危険物本試験にて法令・物理・性質3科目合格				
授業計画	総授業時間数 172時間 授業回数 172回 1回授業 45分				授業時間数
	1	危険物取扱者(法令)※導入・校内模試含む			82
	2	危険物取扱者(物理・科学)			60
	3	危険物取扱者(性質)			30
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				172
教科書	向学院 基礎から最新問題までよくわかる 乙四類危険物取扱者受験教科書				
時間外 学習	1.教科書の練習問題を各自で進める。				
	2.校内模試試験結果の誤答レポートの作成を各自で進める。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1.実務家	2.教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和6年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	エアポート実務 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	業界で使用する航空用語や、航空支援特殊車両の特性等,航空機地上支援業務に特化した専門的・実践的な知識を学び、入社後のキャリア形成を図る。				
到達目標	1. 前期で学んだ知識の復習問題の合格することができる。(100点満点中80点以上で正解で合格とする) 2. 航空用語(応用)空港特殊車両(応用)の筆記テストの合格点到達。(それぞれ100点満点中60点以上正解で合格とする)				
授業計画	総授業時間数 40時間 授業回数 40回 1回授業 45分				授業時間数
	1	前期の復習(3レター、2レター、航空用語基礎、航空危険物)			4
	2	航空用語(応用)			6
	3	空港特殊車両(応用)			4
	4	グランドハンドリング作業工程時間(STAY TIME)			4
	5	機体別コンテナ収納台数、Door Side			4
	6	出発から到着までの各部門別作業一連の流れ			4
	7	貨物部門について			6
	8	那覇空港内フィールドワーク			6
	9	学年末テスト			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				40
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	前期で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介					